

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

報告内容

令和6年度全国学力・学習状況調査の港区の結果について報告いたします。

1 調査概要

(1) 実施日 令和6年4月18日(木)

(2) 調査対象 小学校第6学年児童及び中学校第3学年生徒

(3) 調査内容

① 小学校第6学年 国語・算数・児童質問紙

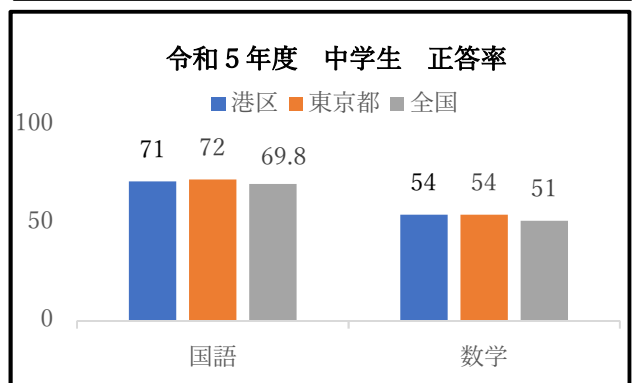
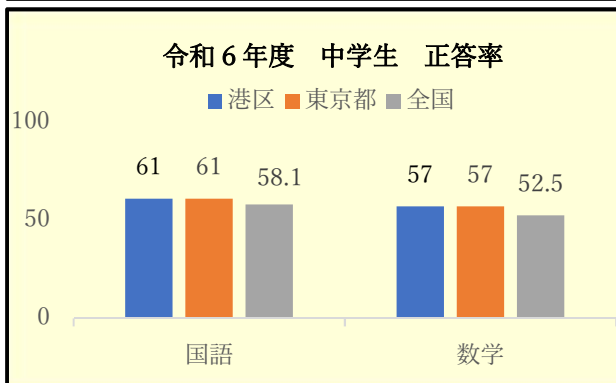
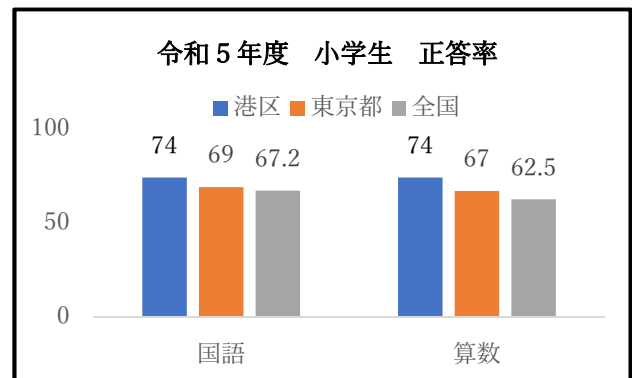
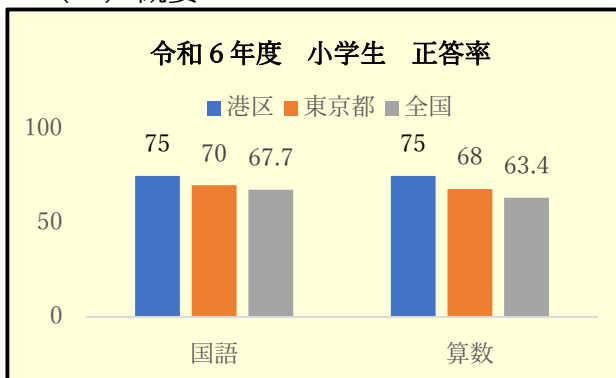
② 中学校第3学年 国語・数学・生徒質問紙

※ 質問紙：調査する学年の児童・生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問を実施した。

(小学校63問、中学校65問)

2 教科に関する調査結果

(1) 概要



【小学校】

- ・2教科ともに全国及び東京都の平均正答率を上回っている。
- ・国語は東京都を5ポイント、全国を約7ポイント上回っている。
- ・算数は東京都を7ポイント、全国を約12ポイント上回っている。

【中学校】

- ・2教科とも全国及び東京都の平均正答率を同ポイントあるいは上回っている。
- ・国語は東京都と同じであり、全国を約3ポイント上回っている。
- ・数学は東京都と同じであり、全国を約5ポイント上回っている。

(2) 各教科の詳細

① 小学校

【国語】

分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
				貴教育委員会	東京都（公立）	全国（公立）
全体			14	75	70	67.7
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	4	74.0	67.9	64.4
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	※1 90.4	88.8	86.9
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	79.2	75.3	74.6
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	※2 68.6	63.9	59.8
		B 書くこと	2	71.4	69.9	68.4
		C 読むこと	3	76.4	71.9	70.7
評価の観点		知識・技能	6	77.6	72.6	69.8
		思考・判断・表現	8	72.2	68.4	66.0
		主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式		選択式	10	77.1	73.0	69.9
		短答式	2	69.9	63.1	59.7
		記述式	2	66.2	63.7	64.6

小学校国語では、学習指導要領の内容のうち「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」の両項目が、すべて東京都、全国を上回っています。特に「知識及び技能」のうち「情報の扱い方に関する事項」の平均正答率は、90.4%※1であり、これは全項目の中で東京都、全国でも最高平均正答率ですが、さらに約2～3ポイント程度上回っています。

一方で、「話すこと・聞くこと」の平均正答率は68.6%※2であり、東京都を約5ポイント上回っていますが、分類「学習指導要領の内容」では、最低値であることから、国語の授業を基盤に他教科、他領域においても、向上させていくことが必要です。具体的な取組として、話し合う活動を多く設定することはもとより、活動を振り返る場面を意図的に設定し、情報を整理することのよさを児童が実感できるようにしていくことなどが考えられます。

【算数】

分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
				貴教育委員会	東京都(公立)	全国(公立)
全体			16	75	68	63.4
学習指導要領の領域	A 数と計算		6	77.0	70.6	66.0
	B 図形		4	76.1	70.8	66.3
	C 測定		0			
	D 変化と関係		3	※3 70.1	59.3	51.7
	D データの活用		4	70.6	65.2	61.8
評価の観点		知識・技能	9	81.8	76.7	72.8
		思考・判断・表現	7	65.3	57.1	51.4
		主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式		選択式	5	83.6	79.2	75.3
		短答式	7	75.4	67.6	62.0
		記述式	4	※4 61.8	55.1	51.0

小学校算数では、学習指導要領の4領域すべてにおいて東京都、全国を上回っています。特に「C 変化と関係」は、東京都と比較すると約11ポイント、全国と比較すると約18ポイント程度上回っています。※3

分類「問題形式」のうち、「記述式」は平均正答率が61.8%※4でした。東京都、全国を上回っていますが、「問題形式」のうち、最低値を記録しているため、指導を改善していく必要があります。具体的には、学習した用語を使って考え説明する活動や、情報を読み取った根拠を表現する活動をとおして、筋道を立てて考え、表現する能力を向上させていくことなどが考えられます。

② 中学校

【国語】

分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
				貴教育委員会	東京都（公立）	全国（公立）
全体			15	61	61	58.1
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	3	61.4	61.6	59.2
		(2) 情報の扱い方にに関する事項	2	61.9	62.9	59.6
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	※6 71.4	75.7	75.6
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	61.5	62.9	58.8
		B 書くこと	2	※5 68.4	67.9	65.3
		C 読むこと	4	※5 52.9	50.8	47.9
評価の観点		知識・技能	6	63.2	64.4	62.0
		思考・判断・表現	9	59.2	58.6	55.4
		主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式		選択式	9	63.9	63.5	61.0
		短答式	3	63.7	64.6	61.8
		記述式	3	48.8	49.6	45.5

中学校国語では、分類「学習指導要領の内容」の「思考力、判断力、表現力等」のうち、**「B 書くこと」、「C 読むこと」は、東京都、全国の平均正答率をともに上回っています。※5**
「A 話すこと・聞くこと」は、東京都を下回りましたが、全国では上回っています。
「知識及び技能」のうち、「我が国の言葉文化に関する事項」は東京都、全国ともに平均正答率を約4ポイント下回っている※6ことから伝統的な言語文化や言葉の由来、変化等を正しく理解し、身に付けさせることが必要です。具体的には、書写の授業において、楷書の学習を踏まえ、行書の特徴を理解して書く活動や、ペアやグループなどで互いに書いた文字について、評価・助言する活動に取り組むことなどが考えられます。

【数学】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴教育委員会	東京都（公立）	全国（公立）
全体		16	57	57	52.5
学習指導要領の 領域	A 数と式	5	57.2	56.2	51.1
	B 図形	3	47.4	46.5	40.3
	C 関数	4	64.1	63.5	60.7
	D データの活用	4	56.7	59.1	55.5
評価の観点	知識・技能	11	66.9	67.3	63.1
	思考・判断・表現	5	※7 35.0	34.2	29.3
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	5	62.9	62.4	58.5
	短答式	6	70.3	71.3	67.0
	記述式	5	35.0	34.2	29.3

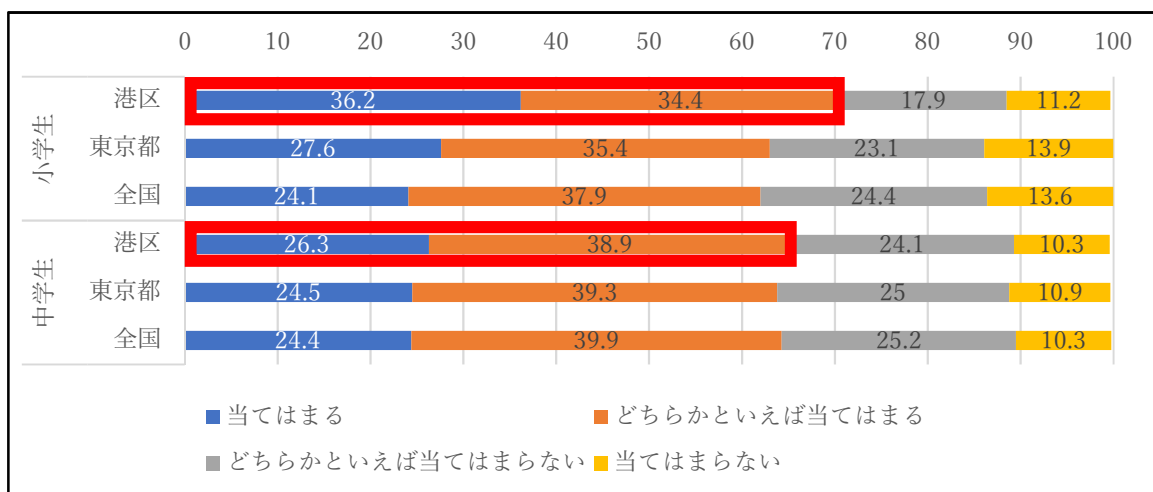
中学校数学では、分類「学習指導要領の領域」の「A 数と式」、「B 図形」、「C 関数」は正答率が東京都、全国をともに上回っています。
「評価の観点」の「思考・判断・表現」は、正答率が東京都、全国を上回っているものの、35%に留まって※7おり、一層の指導の工夫が必要です。具体的には、自分の考えを簡潔に分かりやすく整理し、説明するグループ活動を充実させ、考えを洗練することで、論理的に表現する力を高めることなどが考えられます。

3 質問紙に関する調査結果

(1) 国語科の学習について または国語教育について

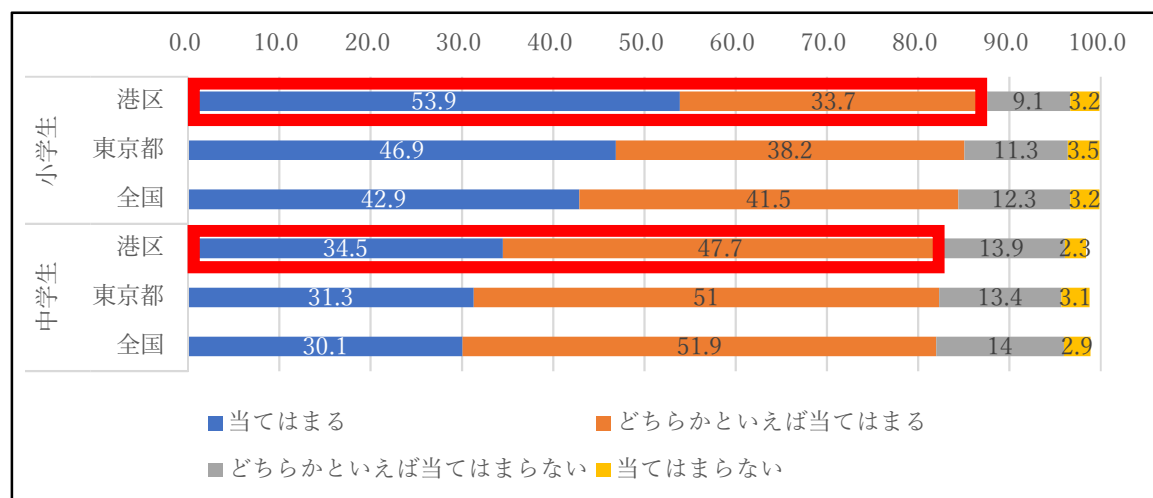
〔質問項目〕国語の勉強は好きですか。

〔結 果〕



〔質問項目〕国語の授業で、児童においては物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか。生徒においては、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈していますか。

〔結 果〕



〔考 察〕

国語の勉強が好きであると答えた児童は70.6%で、生徒は65.2%でした。どちらも東京都と全国の割合を上回っています。

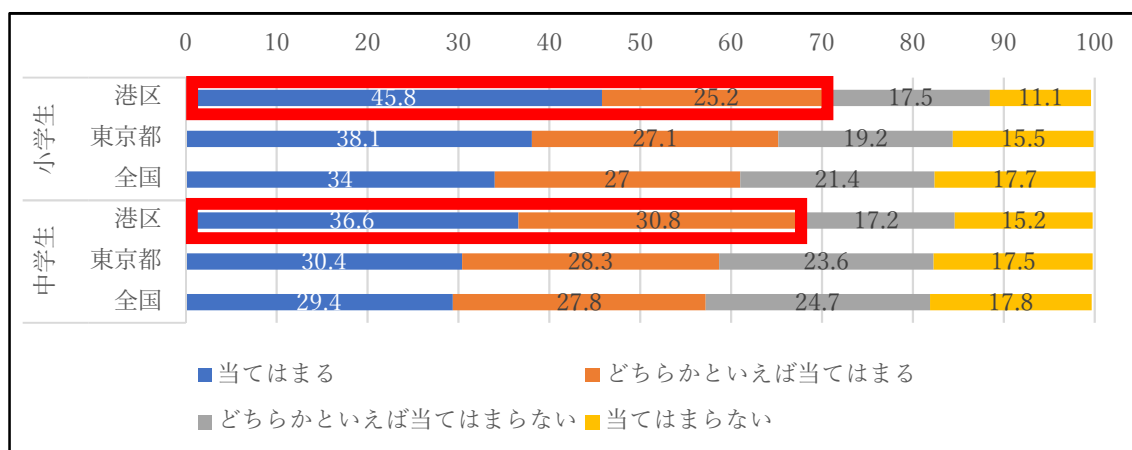
国語の授業で物語を読むときに、登場人物や物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していると答えた児童は87.6%、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して内容を解釈していると答えた生徒は82.2%でした。

これまで、学校司書・学校図書館支援員の配置を充実させ、学校図書館としての機能が反映された結果でもと考えられます。また、GSTをはじめとして、学校の人材を活用し、児童・生徒にきめ細やかな指導を行ってきた成果であると考えられます。

(2) 算数科・数学科の学習について または算数・数学教育について

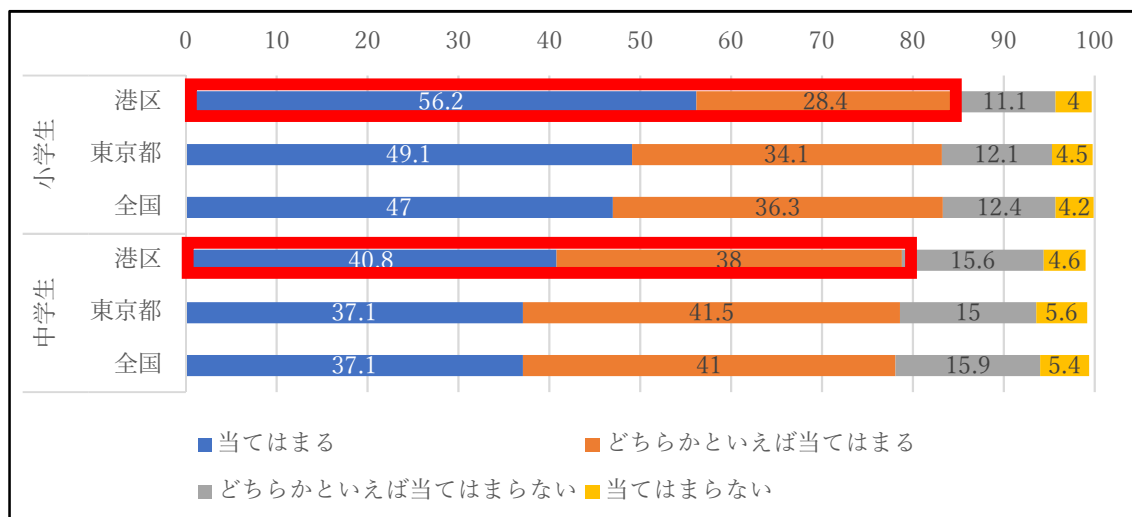
〔質問項目〕 算数・数学の勉強は好きですか。

〔結 果〕



〔質問項目〕 算数や数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。

〔結 果〕



〔考 察〕

算数の勉強が好きであると答えた児童は71.0%で、数学が好きであると答えた生徒は67.4%でした。どちらも東京都と全国の割合を上回っています。

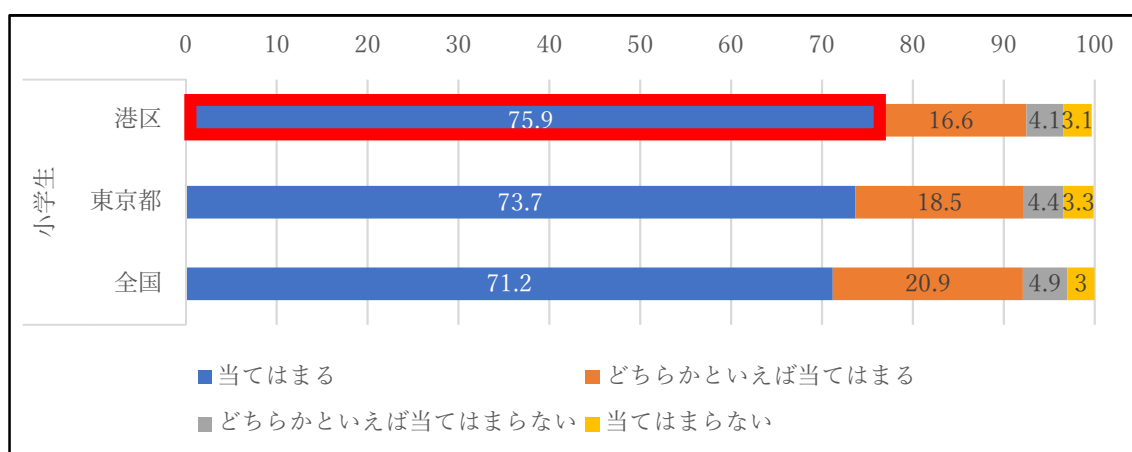
算数の問題の解き方が分からないときはあきらめずにいろいろな方法を考えると答えた児童は84.6%、生徒は78.8%でした。どちらも東京都と全国の割合を上回っています。

昨年度に引き続き、児童・生徒が、算数・数学の学習に意欲的に取り組むとともに、分からない問題に対しても最後まで粘り強く解答していこうという高い意識をもっていることが分かります。小学校から中学校まで、計画的に取り組んでいる習熟度別・少人数指導において、様々な問題解決の方法を指導している成果であると考えられます。

(3) 英語(国際科)の学習について または英語教育について

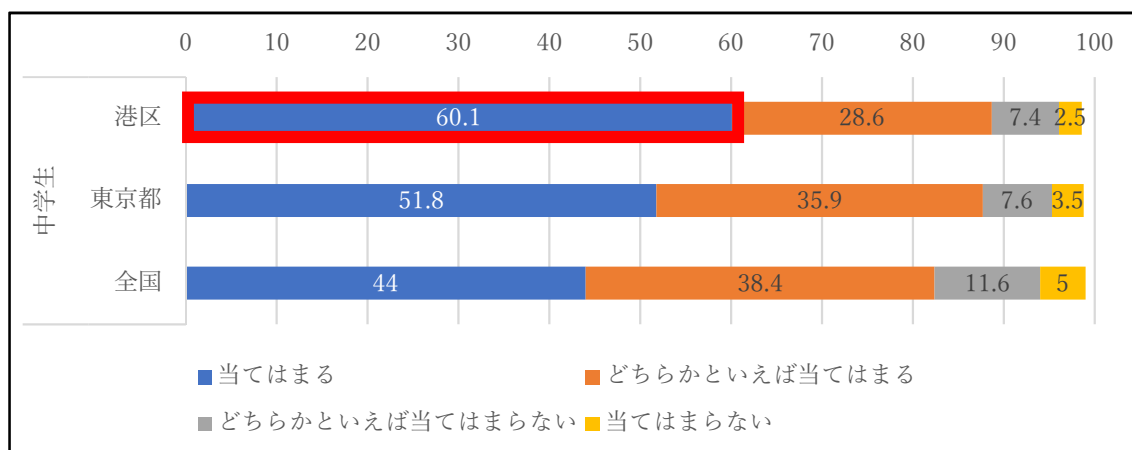
〔質問項目〕 英語の勉強は大切だと思いますか。(小学生のみ)

〔結 果〕



〔質問項目〕 1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか。(中学生のみ)

〔結 果〕



〔考 察〕

英語の勉強が大切であると明確に答えた児童は、75.9%で、東京都と全国を上回っています。

1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思うと明確に答えた生徒は、60.1%で、東京都と全国を上回っています。

小学校1年生からの「国際科」をとおして、英語によるコミュニケーション能力を育成することで、児童の英語に対する意識が高まっていることが分かります。

また、中学生は、英語や「英語科国際」の授業の中で、スピーチやプレゼンテーションを積極的に取り入れ、「話す力」を高める指導を行っていることが分かります。

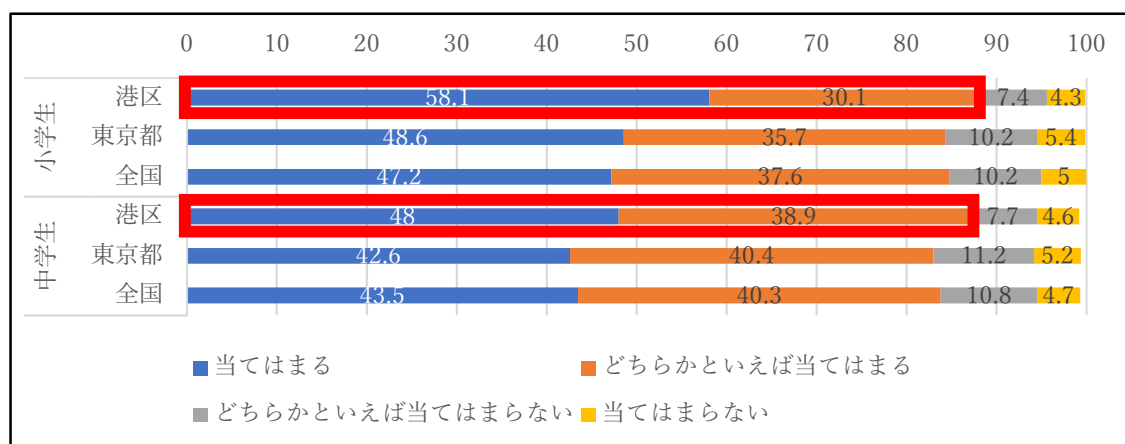
(4) 特徴的な項目について

【東京都・全国と比較し、数値が高かった項目】

① 学校について

〔質問項目〕 学校に行くのは楽しいと思いますか。

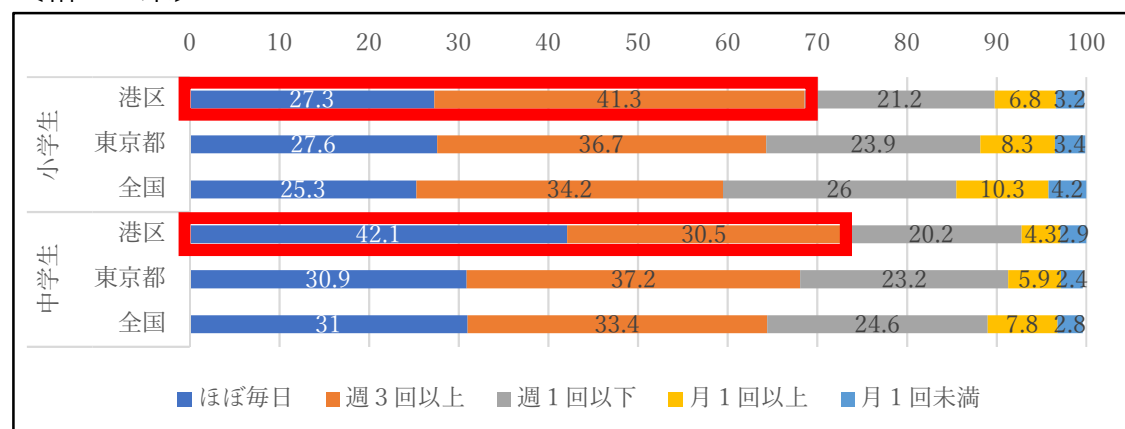
〔結 果〕



② ICT機器を使用した学習について

〔質問項目〕 小学校では5年生までに、中学校では1、2年生の時に受けた授業で、P C、タブレットなどのI C T機器を、どの程度使用しましたか。

〔結 果〕



〔考 察〕

① 学校について

「学校に行くのが楽しい」と回答した児童は88.2%で、生徒は86.9%でした。どちらも東京都と全国の割合を上回っています。小学生、中学生ともに、東京都を約4ポイント、全国を約3ポイント上回っています。各学校が児童・生徒に対して、きめ細やかな対応を行う体制づくりを構築していること、個々の悩みや不安に対してＳＣ、関係諸機関等と連携し、安心して登校できる環境を構築していることが大きく影響していると考えられます。

② ICT機器を使用した学習について

学校で受けた授業で、ＰＣ、タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたかという質問に対して、「週3回以上～ほぼ毎日」と回答した**児童は68.6%、生徒は72.6%でした。どちらも東京都と全国の割合を上回っています。**特に中学生は「ほぼ毎日使用している」と回答した生徒は東京都、全国を約10ポイント以上回っています。

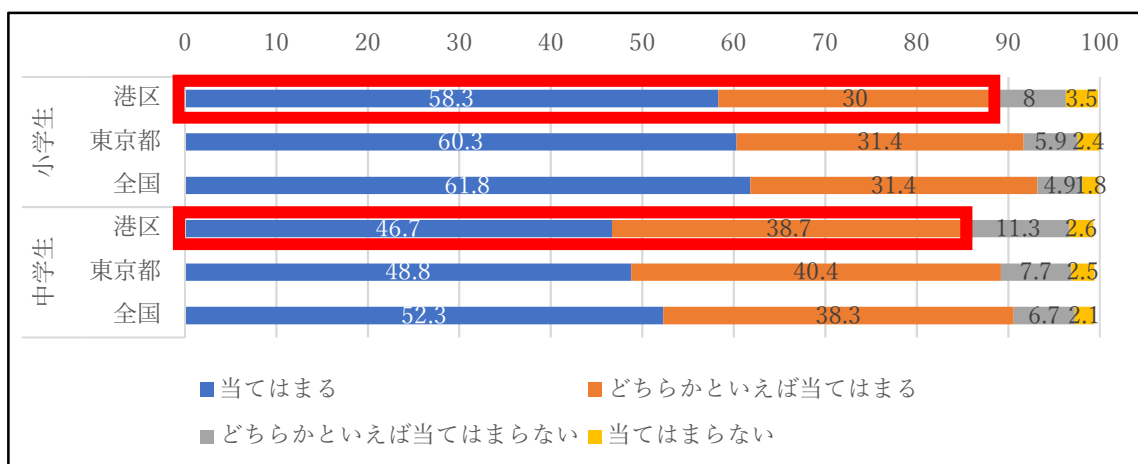
GIGAスクール構想が学校に浸透している結果となりました。今後さらなる活用推進を図るとともに、指導方法の改善を図りながら、児童・生徒の学力向上につなげてまいります。

【東京都・全国と比較し、数値が低かった項目】

① 国語の授業について

〔質問項目〕国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

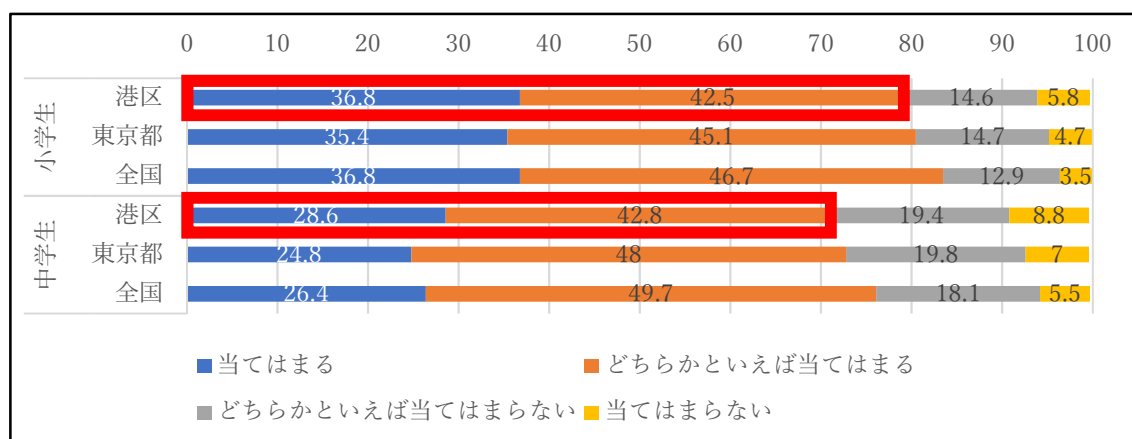
〔結 果〕



② 社会への貢献について

〔質問項目〕地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

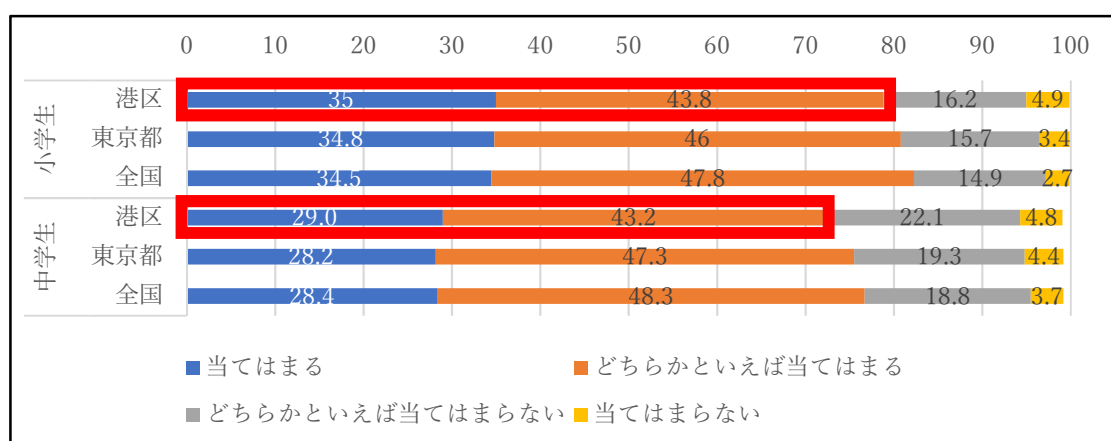
〔結 果〕



③ 健康意識について

〔質問項目〕健康にすごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか。

〔結 果〕



〔考 察〕

① 国語の授業について

国語の学習が、将来、社会に出たときに役に立つと思う児童は88.3%で、生徒は85.4%でした。どちらも東京都と全国の割合を下回っています。

国語の学習内容を学校生活だけではなく、日常生活に生かす意識を高めていくとともに、新しい知識や経験を積み重ねさせ、学ぶことへの意欲をもたせることが重要であることが分かります。

② 社会への貢献について

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童は79.3%で、生徒は71.4%でした。どちらも東京都と全国の割合を下回っており、全国の割合より小学生は約4ポイント、中学生は約5ポイント程度それぞれ下回っています。

昨年度の調査でも都、全国と比べて数値が低かった項目です。児童・生徒が、身近な地域や社会とのつながりを実感することができるよう、学校運営協議会に子どもの意見を反映させる取組を進めることなどが考えられます。

③ 健康意識について

健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていると回答した児童は78.8%で、生徒は72.2%でした。どちらも東京都と全国の割合を下回っています。

児童・生徒の健全な育成のためには、睡眠時間の確保、食生活の改善、家族のふれあいの時間の確保など、生活習慣の改善が不可欠です。家庭との連携も密にし、児童・生徒の健全な発達のための指導を行っていく必要があります。

4 質問紙調査と平均正答率とのクロス集計（一部抜粋）

（１）朝食を毎日食べていますか。

<児童が回答した選択肢別の平均正答率>

選択肢		児童数	児童数の割合 (%)	平均正答率 (%)	
				国語 (14問)	算数 (16問)
1	している	1,226	80.6	76.6	76.4
2	どちらかといえば、している	165	10.8	73.0	72.1
3	あまりしていない	82	5.4	67.2	67.7
4	全くしていない	48	3.2	57.7	62.0

<生徒が回答した選択肢別の平均正答率>

選択肢		生徒数	生徒数の割合 (%)	平均正答率 (%)	
				国語 (15問)	数学 (16問)
1	している	499	74.0	63.5	60.5
2	どちらかといえば、している	91	13.5	57.7	50.5
3	あまりしていない	50	7.4	52.8	49.4
4	全くしていない	33	4.9	50.5	43.4

「朝食を毎日食べている」と答えた児童・生徒は、すべての教科で正答率が高い結果が出ています。正しい食生活と学力向上には密接な関係があります。

（２）普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。

<児童が回答した選択肢別の平均正答率>

選択肢		児童数	児童数の割合 (%)	平均正答率 (%)	
				国語 (14問)	算数 (16問)
1	4時間以上	142	9.3	60.1	57.0
2	3時間以上、4時間より少ない	98	6.4	62.5	58.9
3	2時間以上、3時間より少ない	197	13.0	67.9	66.0
4	1時間以上、2時間より少ない	351	23.1	75.5	76.0
5	1時間より少ない	425	27.9	79.9	81.1
6	全くしない	308	20.2	83.3	84.8

＜生徒が回答した選択肢別の平均正答率＞

選択肢		生徒数	生徒数の割合 (%)	平均正答率 (%)	
				国語 (15問)	数学 (16問)
1	4時間以上	109	16.2	51.1	47.4
2	3時間以上、4時間より少ない	81	12.0	56.5	51.2
3	2時間以上、3時間より少ない	103	15.3	59.7	55.5
4	1時間以上、2時間より少ない	140	20.8	62.6	60.7
5	1時間より少ない	129	19.1	67.8	63.3
6	全くしない	106	15.7	67.3	63.9

「テレビゲームに割く時間が少ない」と答えた児童・生徒、「全くしない」と答えた児童・生徒は、正答率が高い傾向があります。

- (3) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）。

＜児童が回答した選択肢別の平均正答率＞

選択肢		児童数	児童数の割合 (%)	平均正答率 (%)	
				国語 (14問)	算数 (16問)
1	4時間以上	96	6.3	60.9	59.6
2	3時間以上、4時間より少ない	81	5.3	66.5	62.4
3	2時間以上、3時間より少ない	150	9.9	69.0	63.4
4	1時間以上、2時間より少ない	238	15.6	73.9	74.7
5	30分以上、1時間より少ない	243	16.0	77.5	76.6
6	30分より少ない	374	24.6	79.9	81.2
7	携帯電話やスマートフォンを持っていない	339	22.3	77.7	79.8

＜生徒が回答した選択肢別の平均正答率＞

選択肢		生徒数	生徒数の割合 (%)	平均正答率 (%)	
				国語 (15問)	数学 (16問)
1	4時間以上	123	18.2	53.0	46.9
2	3時間以上、4時間より少ない	84	12.5	56.3	48.6
3	2時間以上、3時間より少ない	153	22.7	62.8	56.7
4	1時間以上、2時間より少ない	171	25.4	64.8	63.3
5	30分以上、1時間より少ない	74	11.0	65.9	68.1
6	30分より少ない	46	6.8	65.5	65.5
7	携帯電話やスマートフォンを持っていない	17	2.5	64.7	59.9

「SNS や動画視聴の時間が少ない」と答えた児童・生徒は、正答率が高い傾向が見られます。

(4) 将来の夢や目標を持っていますか。

<児童が回答した選択肢別の平均正答率>

選択肢		児童数	児童数の割合 (%)	平均正答率 (%)	
				国語 (14問)	算数 (16問)
1	当てはまる	879	57.8	75.7	75.2
2	どちらかといえば、当てはまる	336	22.1	76.0	76.5
3	どちらかといえば、当てはまらない	171	11.2	73.6	73.6
4	当てはまらない	135	8.9	70.8	71.9

<生徒が回答した選択肢別の平均正答率>

選択肢		生徒数	生徒数の割合 (%)	平均正答率 (%)	
				国語 (15問)	数学 (16問)
1	当てはまる	270	40.1	59.9	56.9
2	どちらかといえば、当てはまる	184	27.3	64.4	58.1
3	どちらかといえば、当てはまらない	122	18.1	62.0	59.0
4	当てはまらない	97	14.4	57.8	56.3

「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童は、正答率が高い傾向が見られます。一方、生徒では、将来の夢や目標をもっていることと正答率の関連は、見られません。

(5) あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）。

<児童が回答した選択肢別の平均正答率>

選択肢		児童数	児童数の割合 (%)	平均正答率 (%)	
				国語 (14問)	算数 (16問)
1	0～10冊	87	5.7	55.2	51.3
2	11～25冊	162	10.7	66.0	63.7
3	26～100冊	462	30.4	72.0	72.1
4	101～200冊	378	24.9	79.7	80.1
5	201～500冊	260	17.1	81.3	82.0
6	501冊以上	170	11.2	82.6	84.4

<生徒が回答した選択肢別の平均正答率>

選択肢		生徒数	生徒数の割合 (%)	平均正答率 (%)	
				国語 (15問)	数学 (16問)
1	0～10冊	76	11.3	48.8	48.4
2	11～25冊	121	18.0	59.8	53.7
3	26～100冊	216	32.0	62.6	58.6
4	101～200冊	124	18.4	62.6	58.9
5	201～500冊	100	14.8	67.9	64.1
6	501冊以上	35	5.2	61.3	60.9

家庭にある本（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）が多いほど、正答率が高い傾向が見られます。

(6) 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

<児童が回答した選択肢別の平均正答率>

選択肢		児童数	児童数の割合 (%)	平均正答率 (%)	
				国語 (14問)	算数 (16問)
1	できている	639	42.0	81.2	81.7
2	どちらかといえば、できている	676	44.4	73.0	72.3
3	どちらかといえば、できていない	163	10.7	64.8	63.9
4	できていない	41	2.7	55.7	59.1

<生徒が回答した選択肢別の平均正答率>

選択肢		生徒数	生徒数の割合 (%)	平均正答率 (%)	
				国語 (15問)	数学 (16問)
1	できている	223	33.1	66.5	62.5
2	どちらかといえば、できている	318	47.2	60.4	58.3
3	どちらかといえば、できていない	111	16.5	54.4	48.3
4	できていない	20	3.0	51.7	38.1

「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている」と答えた児童・生徒は、すべての教科で正答率が高い結果が出ています。特に小学生は70～80%以上の高い正答率です。自ら主体的に学習方法を考えたり、創意工夫したりする児童・生徒は学力が高いということが分かります。

- (7) 学級の友達・生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。

＜児童が回答した選択肢別の平均正答率＞

選択肢		児童数	児童数の割合(%)	平均正答率(%)	
				国語 (14問)	算数 (16問)
1	当てはまる	722	47.5	80.2	79.9
2	どちらかといえば、当てはまる	573	37.7	72.7	72.6
3	どちらかといえば、当てはまらない	159	10.5	68.4	69.7
4	当てはまらない	51	3.4	56.4	57.5
5	学級の友達との間で話し合う活動を行っていない	13	0.9	52.7	51.9

＜生徒が回答した選択肢別の平均正答率＞

選択肢		生徒数	生徒数の割合(%)	平均正答率(%)	
				国語 (15問)	数学 (16問)
1	当てはまる	247	36.6	65.6	62.3
2	どちらかといえば、当てはまる	317	47.0	61.1	56.9
3	どちらかといえば、当てはまらない	81	12.0	51.5	49.9
4	当てはまらない	18	2.7	55.9	41.3
5	学級の生徒との間で話し合う活動を行っていない	9	1.3	45.2	47.2

「学級の友達・生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」と答えた児童・生徒は、すべての教科で正答率が高い結果が出ています。「協働的な学び」の充実は、児童・生徒の学力向上に欠かせないことが分かります。

- (8) 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。

＜児童が回答した選択肢別の平均正答率＞

選択肢		児童数	児童数の割合(%)	平均正答率(%)	
				国語 (14問)	算数 (16問)
1	当てはまる	671	44.1	81.8	81.2
2	どちらかといえば、当てはまる	612	40.2	72.1	72.4
3	どちらかといえば、当てはまらない	186	12.2	67.0	67.0
4	当てはまらない	47	3.1	51.5	53.5

＜生徒が回答した選択肢別の平均正答率＞

選択肢		生徒数	生徒数の割合 (%)	平均正答率 (%)	
				国語 (15問)	数学 (16問)
1	当てはまる	251	37.2	65.1	60.9
2	どちらかといえば、当てはまる	304	45.1	60.0	56.3
3	どちらかといえば、当てはまらない	96	14.2	57.7	54.0
4	当てはまらない	21	3.1	46.3	47.0

「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と答えた児童・生徒は、取り組んでいない児童・生徒と比べて平均正答率で約14～30%の差がついています。探究的な学習の充実と学力向上には、密接な関係があります。